

# 市民の声

## ～行方市によせる想い～



大川 得 朗  
(行方市警員)

行方市は、霞ヶ浦、北浦に囲まれた豊かな大地、この大地を常に愛し、住みよいまちづくりを全員で願っていると思います。

過日、寺内議員さんより原稿依頼を受け、今後の市政の方策を探ってみました。結果は、多数の人



内 田 信 之  
(行方市天掛)

9月2日に、麻生町、北浦町、玉造町が合併し、行方市になった。これからどう変わるのだろうか、楽しみだ。

最近、豊かな自然との共生という言葉を耳にするが、本当にその通りだと思ふ。子育て支援、環境



鈴 木 り み  
(行方市沖洲)

私は、羽生小学校に通う5年生です。

9月2日から行方市になって、広くなった感じがしました。私はかすみが浦の見えろすぐそばに住んでいます。かもや白鳥や魚がい

が、一人一人の力より、多くの人の交流を図り、語り合い、笑いながら小さな輪をつくり、その輪を二重三重に広げながら実践していく事が、多くの道標の一本であると言つ意見をまとめました。

私も80歳の老人。最近特に健康面、生命の尊さを知るようになりました。生命の維持は、人との交流と語り合う機会が必要です。そのため、保健推進員(一年交代でもよい)を増員し、健康に必要な

問題、福祉の充実など言い出せば切りがない。私たちは、快適に暮らせる、住み良い行方市であつて欲しいと思ふ。

また、今、一番知りたい事は、平成17年度からの税率だ。市になって、税率は、変わるのだろうか。また、議員の人数は、市職員の人数は変わるのだろうか。ムダを無くした行政であつて欲しい。

天気の良い日の学校帰りに見る、キラキラしたかすみが浦が、私は大好きです。

将来、かすみが浦がもつともつときれいになって、魚たちが元気に泳ぎ、たくさんの人たちが、行方市のかすみが浦に遊びに来てほしいと思ひます。

行方市になって、玉造の小学校以外のお友達と交流が出来るのも楽しみだなと思つています。



治療法、運動等々の指導計画を立案し、「市を支える老人」の目標を設置し、それらがやがて、老人医療費の削減につながり、行方市民が、豊かで、住みよい社会が誕生する一つの輪と思ひました。

あなたの「声」をお寄せください。議会や市に対する要望、意見、あるいは「議会だより」を読んでの感想など、なんでもけっこうです。

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。

### 編集後記

新生行方市が9月2日に誕生し、初議会が9月13日・14日の2日間開催されました。関係職員も新たな市政運営に力を注ぎ、順調にスタートをしました。また、10月2日には初代行方市長に坂本俊彦氏が当選され、5日に初登庁しました。今後の市政運営に期待するものであります。

新たにスタートした行方市としての課題は、行財政改革の推進と農産業の振興対策ではないでしょうか。また、百里基地の民間共用化や東関東の延伸等、新時代の要請が待ち受けております。議会としても、それらに出来るべく努力をしなければなりません。新しいまちづくりは、市民の皆様と執行部が丸となり議論を重ね、より良い方途を目指して精進することでありませぬ。

今般、行方市議会だより創刊号を発行する事が出来ました。市民の皆様を始め、関係各位に厚く感謝をする次第であります。

私たちも心を新たに市民の皆様

#### 広報委員会

- 委員長 寺内泰俊
- 副委員長 松兼幸蔵
- 委員 平塚文雄
- 委員 根崎勇三
- 委員 吉藤恵一
- 委員 小林久

#### 広報委員長 寺内泰俊

- 塚本泰雄
- 宮内正
- 庄司茂美